【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公開番号】特開2008-301958(P2008-301958A)
【公開日】平成20年12月18日(2008.12.18)
【年通号数】公開・登録公報2008-050
【出願番号】特願2007-150760(P2007-150760)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/54　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/48　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/05　３７０
Ａ６１Ｂ　5/05　３８０
Ｇ０１Ｎ　24/02　５３０Ｙ
Ｇ０１Ｎ　24/08　５２０Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月27日(2010.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体を撮影する磁気共鳴イメージング装置において、
被検体の撮影断面を設定するための位置決め画像を表示する表示手段と、
上記位置決め画像上に計測視野を設定する手段と、
上記位置決め画像上に設定された計測視野に基づいて、本撮影画像に発生する折り返しアーチファクトを推定して、上記表示手段に該推定した折返しアーチファクトを表示させる制御手段と、
備えることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項２】
請求項１記載の磁気共鳴イメージング装置において、
上記制御手段は、位相エンコード方向を変えた場合に発生する折り返しアーチファクトを推定して、上記表示手段に該推定した折返しアーチファクトを表示させることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項３】
請求項１又は２記載の磁気共鳴イメージング装置において、
上記計測視野は、設定変更可能であることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか一項記載の磁気共鳴イメージング装置において、
上記制御手段は、２枚以上の位置決め画像を用いることで、位置決め画像に対して本撮影スライスがオブリークしている場合も、折り返しアーチファクトが発生する位置を推定し、
上記表示手段に該推定した折返しアーチファクトを表示させることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項５】

請求項１乃至４のいずれか一項記載の磁気共鳴イメージング装置において、
上記制御手段は、推定した折り返しアーチファクトの発生源にプリサチレーションパルスを印加することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項６】
請求項１乃至４のいずれか一項記載の磁気共鳴イメージング装置において、
上記制御手段は、上記位置決め画像の指定領域から折り返しアーチファクトを外すために必要最低限の計測視野の値を上記表示手段に表示させることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項７】
請求項１乃至４のいずれか一項記載の磁気共鳴イメージング装置において、
上記制御手段は、上記位置決め画像の指定領域に折り返しアーチファクトが重ならない計測視野を設定することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項８】
被検体を撮影する磁気共鳴イメージング装置において、
被検体のパラレルイメージングによる撮影断面を設定するための位置決め画像を表示する表示手段と、
上記パラレルイメージングの設定された倍速数に基づいて、本撮影画像に発生する折り返しアーチファクトを推定して、上記表示手段に該推定した折返しアーチファクトを表示させる制御手段と、
備えることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明の磁気共鳴イメージング装置は、被検体の撮影断面を表示する表示手段と、被検体の撮影断面の位置決め画像を上記表示手段に表示させ、上記位置決め画像のうちの設定された計測視野に基づいて、本撮影画像に発生する折り返しアーチファクトを推定して、上記表示手段に該推定した折返しアーチファクトを表示させる制御手段と備える。